

県医労新聞

2017年1月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>

編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1919号(月刊133号)



カワセミ(写真提供=連合通信社)

目次

一頁	新春インタビュー
二頁	新年あいさつ 支部ニュース
三〜四頁	女性部ニュース
五頁	原発再稼働ストップ どうする核のゴミ! 全国交流集会in岩手 岩手医労連36協定等 担当者会議
六頁	青年部ニュース
七頁	つぶやき 当選者発表 労働黒書
八頁	一年を振り返って
裏表紙	新春パズル 一月、二月の予定 お知らせ

患者に寄り添った看護を

被災に負けず、家族も大切に

遠野支部 ○○○○さん



震災を機に
看護師を



3・11。あれから6年が経とうとしています。○○○さんは、当時、高田高校2年でした。多くの友人、親戚を失いましたが、家族は全員無事でした。でも、津波で家は流され、今も家族は借家暮らしです。

○○さんが看護師を目指したのは、この大災害がきっかけでした。被災地で目のあたりにした日本赤十字社の看護師等の活躍に、「私も日赤の看護師に」と決意。

震災の影響で、高校3年生の授業再開にはしばらく時間がかかり、大船渡の高校で授業が再開しました。日本赤十字秋田看護大学を受験し、みごと合格。高校の同級生もおらず、見知らぬ地での大学生活でしたが、石巻、福島など同じ被災地

から来ている学生と知り合い、友人も増え、有意義な学生生活を過ごしました。

岩手県医療局の受験を決めたのは、「地元(陸前高田)に近い病院で働きたい」「みんなに頼られる病院を考えると、県立病院ではないか」と思ったから。県立病院への就職を一番喜んでくれたのは「おばあちゃんでした」と。ちなみに、「おばあちゃん子だった」という○○さんの「○」は祖母の名前「○」さんから一字もらったそうです。

先輩のように
なりたい



配属は遠野病院でした。希望する急性期病院ではありませんでしたが、「患者に寄り添った看護をした」との思いが、患者との密な関係を築いている先輩を見て、私もこうなりたいという目標になってきたそ

うです。まだ夜勤は準夜勤務ですが、四月には次の新採用者が入ってくることもあり、「責任をより自覚して頑張りたい」と話しています。

楽しみは、学生時代から応援している「がんちゃん」のコンサート。年末に、東京ドームに大学時代の友人と行ってきました。4月からのアパートでの一人暮らしは、最初は寂しい気持ちもありましたが、今はカラオケや旅行、時には「どぶろく」もたしなんで、楽しい生活を送っています。

組合に入ったきっかけは、同じ病棟の組合役員の方に、何度も誘われたこと。いつかは入るつもりでしたが、仕事もいくぶん慣れてきて、11月に加入しました。「青年部のスキー&スノーボード交流会、楽しそうですね」と青年部活動にも関心を寄せています。

新年、酉年 ご褒美年次を



中央執行委員長

中野るみ子

ましよう

この一年、地域医療を支えご奮闘されたことに、心から敬意を表します。

昨年は、第1回本部団体交渉が「12月20日」という、例年にならない事態でした。医療局長宛の「わたしの職場実態報告」には、たくさんの方の切実な声が寄せられました。「超勤書けない」「年次が取れない」「人手が足りない」。

政府やマスコミからは、「働き方改革」「女性の活躍」「勤務環境改善」「ワークライフバランス」「同一労働同一賃金」「賃上げの春闘」など、とても耳ざわりの良い言葉ばかりがおどっています。しかし、現実には診療報酬引き下げや制度の改悪、社会保障予算の削減で働く環境は悪化しています。更なる改悪も狙っています。そのことを唯々諾々として、時間外を書けないような職場・年次を取れないような職場のままでは、もはや働くもののいのちも守れないほど事態は切迫しています。現場の責任者や当局は気づくべきです。働く人を大事にしない企業に、未来はないんだと、現場を支えている者として教えてあげましょう。

年末年始に働いた人、交代制職場で「非番」を割り振られた人は、自分へのごほうびとして年次を取りましょう！
本年も、よろしくお願ひします。



新山田病院

住民期待の病棟再開

山田病院は、昨年9月に移転・新築となりました。近隣病院の人手不足の関係で、なかなか全スタッフが揃わない状況も続きました。



新大槌病院

スタッフステーション前で

昨年5月に移転・新築となった大槌病院では、この新しいスタッフステーションを中心に病棟業務がスタート。新しい年をここで迎えます。



ために

北

北部ブロック集会は、11月19日、盛岡市上田公民館で「アイシングクッキー作り」をしました。

砂糖と卵白でできたクリームをクッキーの上にデコレーションするアイシングクッキー。細かい作業に、全神経を集中させ練習し「いざ本番」と思いきや、気力を失ってしまった参加者もいたようですが、全員、できあがり「満足」の一言でした。クリスマスに向けてデザインはアート作品のように、食べるのもつたいないほどもでした。交流の前には母親大会のDVD鑑賞とつばやきカードにも取り組みました。4支部・本部、家族含め19名が参加しました。



中

中部ブロック集会は、11月19日、北上市のさくらホールで「マーブルアート&マクロビランチ」を開催しました。

マーブルアートはビー玉とワイヤーをつかって作る盛岡生まれのクラフト。見ているだけで心が華やかような、さまざまな色のビー玉の中から、好きな色を選びプランチを作りました。同じデザインでも、作り手によって個性が表れ、オリジナルの良さが味わえました。「あっという間に時間が過ぎました」「懐かしい同僚と会えてうれしかった」などの感想が聞かれました。また、ヘルシーなマクロビランチも好評でした。集会には4支部・本部、家族含め37名が参加しました。



2017年
夏

日本母親大会がやってくる 全国からのべ1万人が岩手に!!

「生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」のスローガンを掲げ63年。日本母親大会が8月19日～20日、盛岡市で開かれます。みんなで成功させましょう。

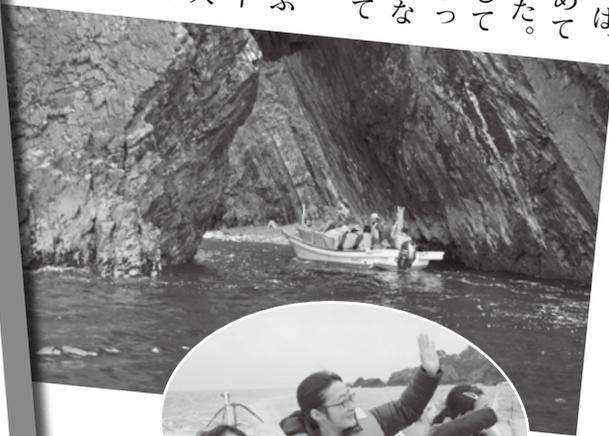


笑顔で、元気に働く 女性部で心豊に

第42回女性部ブロック集会在開催されました。
4ブロック合わせて14支部・本部98名が参加。
目の前の作業に没頭し、他愛のない
ことにみんなでお腹の底から笑いあい、
「心にゆとりのある生活」の楽しさを
感じたひとときでした。

南

南部ブロック集会は、
11月19日、震災後初めて
大船渡で開催しました。
大船渡らしい企画として
碓石海岸と穴通船に乗っ
がら、震災による被害や海の変化について
も説明を受けました。
昼食時には、母親大会のDVD鑑賞とつづ
やきカードにも取り組みました。アットホー
ムなおもてなしと、美味しい料理の数々に「大
満足ならぬ大満腹でした」との感想も聞かれ
ました。また、「子ども連れの参加には、仕
事と家庭の両立が大切だなと実感しました」
などの感想も聞かれました。集会には3支部・
本部、家族含め20名が参加しました。



三

三陸ブロック集会は、11月12日、
シートピアなどを開場に「アロ
マキャンドル」を作りました。
湯煎で溶かした蜜蝋に好きな色
のクレヨンを削って色をつけま
す。
そしてアロマオイルを数滴入れて固まるのを待ちま
す。すると、カラフルなアロマキャンド
ルのできあがり。その他にも、いろい
ろなアロマの使い方を知りました。
クリスマス飾りにもぴったりのキャ
ンドル。火をつけて、アロマの香
りでリラクゼーションすることが楽し
みです。思っていたより簡単にでき
、親子で楽しむことができました。
集会には3支部、家族含め22名が参
加しました。



原発再稼働ストップ・核のゴミは増やさない!!

原発ゼロを実現しよう!



集会の様子

「原発再稼働STOP! どうする核のゴミ! 全国集会 in 岩手」が、11月27日(日)、盛岡市サンビル7階を会場に開催され、全国12都道府県から272名が集いました。原発が立地されていない県での初めての開催です。主催は原発問題住民運動全国連絡センターと、いわて労連を含む岩手県実行委員会でした。

レベ放射
性廃棄物の
最終処分場
の候補とさ
れる可能性
が取りざた
されている
ことを指摘
し、「国民
的議論をも
とに最終処
分を合意す
るといくな
ら、「核の
ゴミは増や
さない・原発ゼロ」が国民
的議論の入り口。これが最
低条件」と述べました。

原発で発電をした際に出る高レベル放射性廃棄物。放射線レベルが自然界と同じになるまで10万年以上もかかる。とされ、原発は「トイレなきマンション」と言われています。

記念講演で今田高俊東京工業大学名誉教授は、高レベル放射性廃棄物の最終処分問題を紹介。高さ1.3メートル、外径約40センチメートルのガラス固化体に閉じ込められた高レベル放射性廃棄物は、この前に立つと20秒で死んでしまふ、人間にとつてようやく害のない状態になるまで1万年かかるとのこと。すでに2万7000本あるこ

れらについて、政策の抜本的見直し、「暫定保管」と「総量規制」が重要であると強調。国民の合意形成を後回しにしたまま処分場を決めようとしている政府のやり方を、拙速と批判しました。

参加者は原発再稼働を止め福島切り捨て政治転換を求め「100万人署名」の取組を確認し、岩手からのアピールを採択しました。

組織拡大は青年の力をかりて

～岩手医労連担当者会議～

岩手医労連主催の「36協定・安全衛生委員会・組織拡大・医労連共済担当者会議」が、12月10～11日、花巻温泉・ホテル千秋閣で行われ、全体で61名・県医労から7支部・本部13名が参加しました。

二日目の組織拡大では、全医労の取り組みが報告され、「4月の組合説明会に向けて12月に担当責任者を決め、1月から新歓プロジェクトチームを結成。2月には説明会日程を確定し、3月には説明会のリハーサルを行っている。その都度取り組みを振り返り、教訓を引き出し、次につなげていくことが大事」と強調。青年部の役割発揮や、職場での声かけも大事と再確認しました。



2日目の組織拡大の様子

夜景,美味,戦跡めぐり 県医労青年部 中央交流会 in 函館



函館山



11月26日～27日、
県医労青年部は「中央交流会in函館」を開催し、
9支部・本部16名が参加しました。

1日目は、YMCAのみなさんにガイドをお願いし、函館山の戦跡を歩き、歴史を学びました。夜は赤レンガ倉庫内の函館ビアホールで、ジンギスカンや海鮮など北海道の味を楽しみました。その後、ロープウェイで函館山に登り、キラキラの夜景を満喫しました。2日目は、観光、グルメ、ショッピングなど、それぞれ自由に過ごしました。



ライトアップされた赤レンガ倉庫



函館山でYMCAのみなさんと



大谷翔平投手とガッツポーズ (JR函館駅前)

1/21(土)～22(日)、APPIで開催される
県医労青年部スキー・スノボ交流会で
お会いしましょう♪



びびりま

大学駅伝大好きです。箱根駅伝も楽しみです。冬だなあ。

中央支部 シヤスミン

パワハラ、なくならないですね…。働きやすい職場にならないと、若い人がどんどん離職してしまうのになあ。

磐井支部 ツムツム

毎日忙しく働いています。お金はいらないから、とにかく休み、年次がほしかったです。現在、産休に入り、ホッとしています。復帰するのが怖いです。

中央支部 シブリア好き

育児休業中です。育児は大変ですが、家族と一緒に過ごせる時間にとっても幸せを感じます。仕事、仕事で

家庭を顧みる事もできなかった頃の自分とは比べものにならないほど、充実した日々を過ごせていると思います。

大船渡支部 リアルプーさん

職場の人が病休になりました。体調不良で休む人も多いです。日勤も夜勤も過酷…。だから、体も壊します。何とかしてほしいです。

中央支部 もちもち

インフルエンザや感染症

当選者発表

11月号パズル

11月号パズル「まちがいは7つ」には33名の応募があり、32名が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

の流行しやすい時期となりました。スタッフ不足で体調も崩しやすくなりますが、手洗い、うがいと休憩で乗り切りたいと思います。

遠野支部 るんるん



■11月号当選者(敬称略)

二戸へおでんせ(二戸支部)、ハロウィン(二戸支部)、たつきゆん、げんさん、にゃん吉郎(以上、中央支部)、3匹のこぶたのかあちゃん(江刺支部)、サイエローモンキー(磐井支部)、〇〇〇〇(南光支部)、はなちゃん(大船渡支部)、霜月(宮古支部)

「イクボス宣言」はウソですか？ 育休、部分休の人たちは帰れません。子どもの行事の休みも取れません。夜勤・超勤が多くて、子どもと一緒にいる時間がありません。

患者さんに「いつも忙しい。声かける暇もない」と言われ、患者さんの声も聞けない自分に不甲斐なさを感じます。もっと、患者さんの側でケアしたい。そういう環境にしてください。

黒書

医療局長様
県立病院の職員として、私たちはこの1年、自分の生活を犠牲にしてがんばってきました。私たちの声を聞いてください。働き続けられる職場を実現してください。

毎日忙しくてインシデント、アクシデントを起こさないか不安の中で働いている。先輩も忙しいため、話しかけていいか迷います。夜勤が絡む休みが多くて、疲れがとれない。

年次が年間3日のみ。具合が悪くても、朝に電話をして、冷たい態度を取られるのが嫌で我慢しています。家族からも医療局は「ブラックだ」と言われます。過労死しそうです。

戦争法反対！ 2016年

市民と野党の協力で、前進



定期大会1日目の終了後に、木戸口候補(当時)が駆け付け激励のエールを交換



市民の力で野党共闘の実現を、と盛岡でもデモ行進



全国集会でも、岩手の若者を戦場に送るなとアピールしました



戦争法が強行された9月19日にちなんで毎月19日に抗議のデモ行進等が継続されています

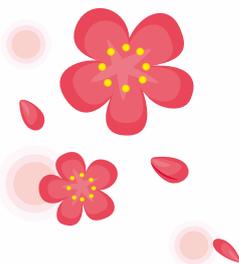


ナースウェーブ集会でも、「看護は平和から!!」を掲げ、デモ行進・街頭署名

県医労支部長会議・旗開き

と き 1月20日(金) 13:30～ 支部長会議
18:00～ 新春旗開き

ところ ホテル愛真館 (盛岡市つなぎ)



春闘学習会

と き 1月21日(土) 9:00～11:30

講義①「激動の情勢と労働組合
組織をどう強め、たたかうか」(仮)
*長尾ゆりさん (全労連副議長)

ところ ホテル愛真館
(盛岡市つなぎ)

講義②「母親運動について」
*牛山靖夫さん (国賠同盟岩手県本部会長)

上下どちらかの絵に7つ
の間違い箇所を印をつけ、
ハガキに貼付して、応募し
て下さい。正解者の中から、
抽選で20名の組合員に図書
カードを送ります。送りは先
着順です。020-0023 盛
岡市内丸1-1、県医労「懸
賞バスル」係まで。締切は
1月末日(必着)です。ま
た、抽選には関係ありません
が、ハガキの余白に「つ

新春パズル



2017 新春クイズ
7つの間違い



「ばやき」(職場の話題など何
でも)を、ぜひ一言お書き下
さい。県医労新聞で紹介す
る場合がありますので、匿
名希望の方は必ずペンネー
ムをお書きください。ただ
し、当選した場合は、記念
品の送り先が必要となりま
すので、支部名・本名の記
入をお忘れなく!

1月の予定

- 7日(土) 県春闘共闘年次総会・旗開き(サンビル)
- 20日(金) 県医労支部長会議(ホテル愛真館)
県医労新春旗開き(ホテル愛真館)
- 21日(土) 県医労春闘学習会(ホテル愛真館)
- 21日(土)～22日(日) 青年部スキー・スノーボード交流会(安比グランド)
- 22日(日) 戦争させない・9条壊すな! 岩手の会
1.22平和のつどい(岩手県公会堂)
- 28日(土) 岩手医労連中央委員会(県民会館)
岩手医労連新春旗開き(ホテルニューカーリーナ)
- 29日(日) いわて労連第50回評議員会

2月の予定

- 2日(木)～3日(金) 日本医労連看護要求全国交流集会(伊東)
- 4日(土)～5日(日) 日本医労連東北地方協2017春闘討論集会(天童)
第5回看護部会
- 10日(金) 県医労第157回中央委員会(エスポワールいわて)
- 18日(土) 岩手医労連女性労働学校(水産会館)

